

## ヒアリング項目

## ＜前提となる事業手法＞

P F I 法に基づき、設計・建設、維持管理及び運營業務を行う。施設整備は、B T (Build Transfer) とし、運営については、公共施設等運営権を設定するコンセッション方式を導入する。

また、事業実施事業者は S P C (特別目的会社) とする。

	項 目
1	<b>本事業のコンセプトに関すること</b> (内容例)・県の示すコンセプトに関する意見、実現方策
2	<b>施設に関すること</b> (内容例)・スタートアップ支援拠点として備えるべき機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、機能構成及び規模</li> <li>・具体的なイメージ、類似事例</li> <li>・想定される整備費単価</li> </ul>
3	<b>運営に関すること</b> (内容例)・運営に必要な業務内容及び費用
4	<b>付帯事業に関すること</b> (内容例)・導入可能性がある収益施設と規模及び収益正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能性があるソフト事業</li> </ul>
5	<b>スタートアップ支援プログラムの展開に関すること</b> (内容例)・スタートアップ支援プログラムとして想定する内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なイメージ、類似事例</li> </ul>

6	<p><b>事業スキームに関すること</b></p> <p>(内容例)・現在県が想定している事業スキームの成立可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定される課題、リスク及びヘッジの手法</li> </ul>
7	<p><b>事業参画意向に関すること</b></p> <p>(内容例)・本事業への関心、参加希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参画にあたっての課題、条件等</li> </ul>
8	<p><b>その他自由提案</b></p>

※記載内容に応じて適宜記載枠を増減すること。